





平成12年度予算額及び前年度比較				
会計別	今年度当初予算	前年度当初予算	増減率(%)	
一般会計	444億7,300万円	455億9,800万円	△2.5	
特別会計	392億2,970万円	338億1,105万円	16.0	
内訳	国民健康保険特別会計	81億2,377万円	78億6,255万円	3.3
	土地区画整理事業特別会計	20億5,711万円	20億947万円	2.4
	下水道事業特別会計	56億2,531万円	61億2,572万円	△8.2
	受託水道事業特別会計	21億4,211万円	25億2,508万円	△15.2
	老人保健特別会計	91億4,901万円	94億8,509万円	△3.5
	老人入院共済事業特別会計	—	5,219万円	皆減
	介護保険特別会計	42億4,146万円	—	皆増
	市立総合病院事業会計	78億9,093万円	57億5,095万円	37.2
	合計	837億270万円	794億905万円	5.4

# 平成12年度予算の審議から

## 一般会計予算総額

444億7,300万円 (前年度対比 2.5%減)

## 特別会計予算総額

392億2,970万円 (前年度対比 16.0%増)

平成12年度一般会計予算特別委員会は3月21日から

一般会計予算  
原案可決

## 平成12年度予算と主要事業について

—市長の所信表明より抜粋—

平成12年度の一般会計の総額は、444億7,300万円で前年に比べ11億2,500万円、2.5%減となりました。

歳入のうち市税は266億37万円で、前年に比べマイナス15億1,800万円、5.4%の減となりました。この主な内容は、不況や減税の影響により個人市民税3億5,600万円、法人9億300万円の減等によるもので、地方交付税については、前年度20年ぶりに交付団体になったことにより、普通交付税が14億7,500万円計上されました。基金からの繰入金については、5億7,400万円で前年に比べ12億3,200万円の減となっています。

長引く不況の中で、ここ数年慢性的になってしまった基金依存型財政運営から脱却し、市財政の立て直しを図るため、様々な取り組みが行われました。歳出面において、経常経費の削減をはじめ、人件費についても5億円余りの削減による内部努力を加えるなど、徹底した経費の見直しや削減が図られました。

12年度予算の特徴は、環境部門と福祉部門へ重点的に配分したところにあります。

特別会計については、総額392億2,970万円で前年度比16.0%の増となりました。これは、新たに介護保険特別会計(42億4,146万円)を設置したこと、病院事業において新病院建設2年目を迎え、建設改良費が大幅に増えることによるものです。

### 平成12年度の主要事業

1. 自治—①総合計画(2010年プラン)の策定 ②PFI(民間との協力による施設整備)の活用調査の実施
2. 福祉保健—①介護保険対象外事業の実施(ホームヘルプ・生きがいデイサービス・一時保護他) ②高齢者の誕生日検診の実施
3. 環境—①ごみ減量・リサイクルのためダストボックスの廃止を含む、ごみ改革の実施 ②ISO14001認証取得
4. まちづくり—①都市計画マスタープランの策定 ②日野本町四丁目周辺密集市街地整備事業(建物調査、用地取得)の実施
5. 教育—①日野第四小学校校舎増築工事の実施 ②情報教育アドバイザー派遣・スクールカウンセラー配置
6. 生活—①第一東光寺団地市営住宅建替工事の実施 ②商工業者の経営支援の推進 ③農あるまちづくりの推進

23日までの3日間にわたり開催され、奥野倫子委員長、沢田研二副委員長のもと、慎重な審査が行われ、原案可決。

修正の内容は区画整理事業区域内の新都市建設公社用地の固定資産税、都市計画税の減免を当面取りやめること、5千100万円の歳入を見込み、その歳入をもつて、障害者への福祉タクシーの助成と地区育成会への補助金の増額を図るものです。

この修正案に対し、「減免が可能か否か確定できないような歳入は組むべきではないのでは」と減免を行わず、土地の使用料等が発生した場合の対応は「などの質疑がありました。

委員会は、7つの特別会計ごとに審査が行われ、質疑や行政への意見、提言、指摘が行われました。

国民健康保険特別会計(予算総額 81億2,377万円) 保険料の値上げに反対する意見がありましたが、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決まりました。

土地区画整理事業特別会計(予算総額 20億5,711万円) 立替金に依存した事業の進め方には賛成できなかったという意見がありましたが、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決まりました。

下水道事業特別会計(予算総額 56億2,531万円) 下水道料金の値上げに反対する意見がありましたが、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決まりました。

老人保健特別会計(予算総額 91億4,901万円) 特段の質疑、意見はなく、全会一致で原案どおり可決すべきものと決まりました。

介護保険特別会計(予算総額 42億4,146万円) 特段の質疑、意見はなく、全会一致で原案どおり可決すべきものと決まりました。

主な質疑としては、NPOの支援事業費について、地域福祉推進事業補助金の内容について、戸別有料収集に伴う、ごみ袋の価格の算出根拠について、特別養護老人ホーム委託措置費について、委員会では、委員6名が賛否の態度を保留したまま採決が行われ、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決まりました。

平成12年度特別会計予算特別委員会は3月24日に開かれ、宮沢清子委員長、森田美津雄副委員長のもと、慎重な審査が行われ、原案可決。

委員会は、7つの特別会計ごとに審査が行われ、質疑や行政への意見、提言、指摘が行われました。

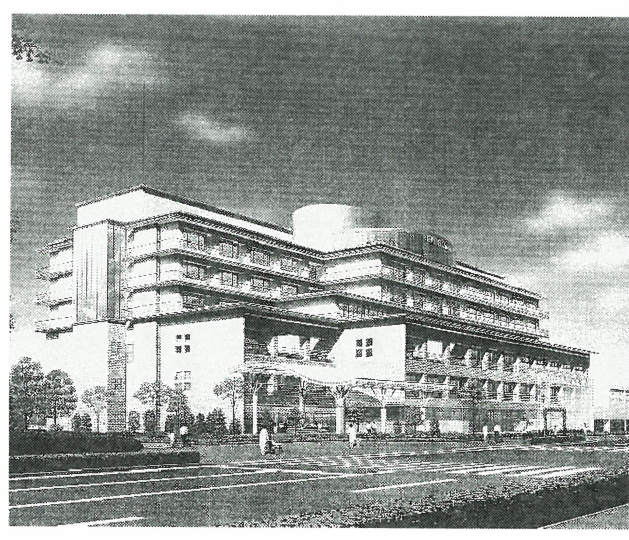
国民健康保険特別会計(予算総額 81億2,377万円) 保険料の値上げに反対する意見がありましたが、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決まりました。

土地区画整理事業特別会計(予算総額 20億5,711万円) 立替金に依存した事業の進め方には賛成できなかったという意見がありましたが、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決まりました。

下水道事業特別会計(予算総額 56億2,531万円) 下水道料金の値上げに反対する意見がありましたが、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決まりました。

老人保健特別会計(予算総額 91億4,901万円) 特段の質疑、意見はなく、全会一致で原案どおり可決すべきものと決まりました。

介護保険特別会計(予算総額 42億4,146万円) 特段の質疑、意見はなく、全会一致で原案どおり可決すべきものと決まりました。



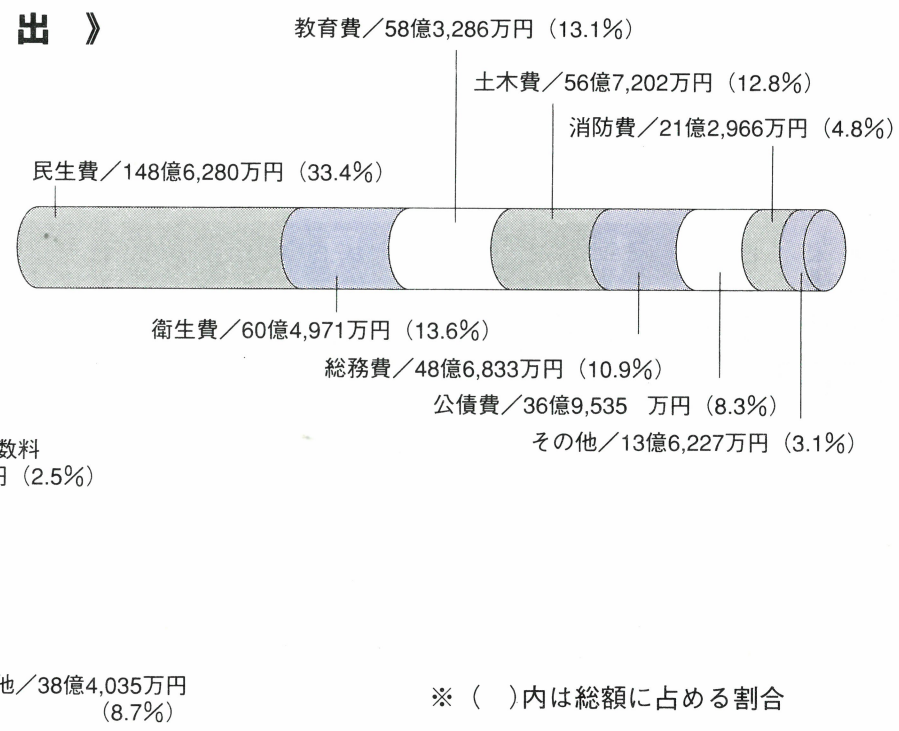
〈仮称〉日野市立病院の完成予想図

## 一般会計予算

総額444億7,300万円

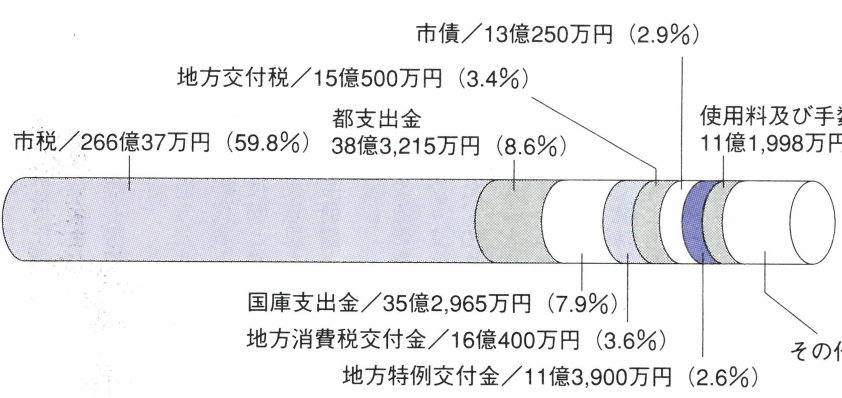
前年度対比 △2.5%

## 《歳出》



※ ( )内は総額に占める割合

## 《歳入》





平成12年度一般会計予算に対する

各会派の  
総括意見

平成12年度一般会計予算に対する各会派の意見表明は、3月30日に本会議場において行われました。意見の要旨を紹介します。

公明党  
原案賛成

人件費削減、ごみ処理経費圧縮など、市民負担の前に内部努力をという姿勢を評価す。

原案に賛成の立場で意見を申し上げます。平成12年度予算の特徴は、環境部門と福祉部門への重点的配分にあると言えます。前市長在任時の平成9年度の当初予算と今年度と比較してみると、いかに馬場市長が環境と福祉部門へ重点的に予算配分をしたかということが、実際の裏づけを持って、理解いただけるのではないかと思います。さら

市民クラブ  
原案賛成

野用水整備工事の継続を図るなど、厳しい中にも一杯の配慮が見られます。

野用水整備工事の継続を図るなど、厳しい中にも一杯の配慮が見られます。今後は、各施策における受益者負担や、その事業ごとの評価はどうかあるべきかを、市民に分かりやすい形で公開すべきであると思えます。これにより市民の公平な判断が可能になると思っています。今後とも市民参画のものと、日野市民のため、公平で効率的な行政運営に努力されることをお願いし、意見とします。

清流・ネット  
原案賛成

実施全体のコストを試算し、事業評価と情報提供する体制を整えることが重要

実施全体のコストを試算し、事業評価と情報提供する体制を整えることが重要です。補正予算での対応を要望します。ごみ分別容器購入補助金等には必要のない予算です。予算配分の優先順位にたいに疑問を感じました。介護保険の導入に伴い、浅川苑は介護報酬によって運営されるべきです。民間施設も助成をするのか、独立採算を促すのか、方向性を定める必要があります。遊び場等の草刈り業務委託

自民クラブ  
原案賛成

絶対的歳入不足の中、市民生活への影響を最小限にとどめる努力が見られる予算編成

原案に賛成する立場で、意見を申し上げます。前年比11億2千500万円減、そして、歳入の根幹を成す市税収入は、前年度より約15億2千500万円減の26億36万6千円しか見込めず、各基金についても、使い切った状態での予算編成です。このような絶対的歳入不足の下、経営的感覚を取り入れ、市民生活への影響を最小限にとどめる

市民クラブ  
原案賛成

施策の見直しや削減が盛り込まれる中、市民の評価による事業評価方法の確立を

原案に賛成する立場で意見を申し上げます。今後は、いかなる検討も、どのように予算を配分するかという点に帰結しますが、平等という考えをもう一度考え、市民一人ひとりに対する行政サービスの実行すべきと考えます。歳入面では、市税が全体で15億800万円の大規模な減額になっており、それに伴い、歳出において削減が見込まれています。それらに

日本共産党市議団  
修正案賛成

財政難を口実とした弱者切り捨て予算。自治体の本旨に戻り市民の安全と健康を守れ

2000年度予算について、修正案賛成、原案反対の立場で意見を述べます。歳入については、平成12年度予算では「福祉・住民サービス削減先ありき」で、見込み額が抑え込まれています。しかし、普通地方交付税は正分当初予算に盛り込まれていない財源や新都市建設公社所有地の固定資産税等の減免を是正した財源を活用すれば、福祉を削減する必要はありません。歳出については、障害者

高年齢者・子どもたちの施策が聖域なく削減されました。馬場市政の弱い立場にある人をまず考えるという原点も、市民参画の姿勢も感じられません。介護保険の適用から外れる方への自立支援策は評価しますが、いきいき体操の廃止は全く道理にかないません。早急に健康づくりの施策展開を要望します。また、学童クラブ等の観劇会

「これしかないのだから我慢してください」と言われんばかりの内容です。厳しい財政状況だからこそ、行政のむだを見直し、税収の可能性を探り、市民サービスの低下を最小限に食い止めることが重要です。高齢者福祉施策の現金給付の見直しは、生活実態を踏まえて進めるべきであり、財政難を理由に一律カットするやり方は許されません。

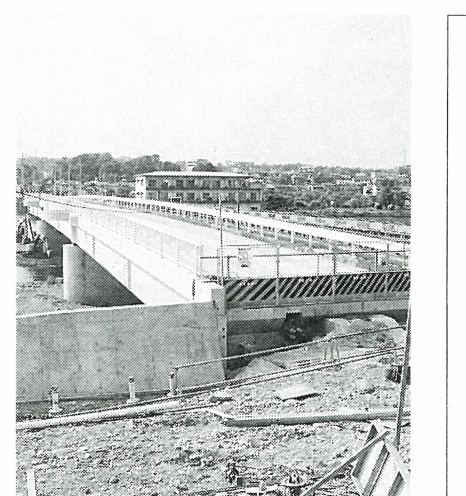
あおぞら  
修正案賛成

厳しい財政状況だからこそ、市民サービス

福祉タクシー助成の削減は障害者の足を奪うものであります。予防福祉事業は、市長もその重要性を認めていますが、予算上は逆行していると言わざるを得ません。いきいき体操の継続を要望します。介護保険については、市民にきちんと情報が伝わっているのか心配です。自立判定が予想される方にも申請を促し、自立支援・介護

議会選出の委員、組合議員

- 今定例会において、次のとおり委員、議員が選出されました。
★農業委員会委員 中野昭人 黒川重憲
執印 眞智子 小山良悟
夏井明男 江口和雄
奥住芳雄
★東京都11市競輪事業組合協議会議員 黒川重憲
小山良悟
★多摩地域農業共済事務組合協議会議員 田原茂
土方尚功
★東京都4市競艇事業 福島盛之助



▲建設すむ一番橋



# 一般

## 質問

各定例会では、市政全般について一般質問が行われます。今定例会では、3月9日から15日までの5日間にわたり行われ、17名の議員から38件の質問があり、行政側の対応をたしました。

### 菅原 直志

(清流・ネット)

#### 市の財政運営を問う

問1 地方交付税制度と借金返済方法の検討を国に求めるべきではないか。

答1 (企画部長) 悪い制度ではありませんが今後大きな国民の負担という点で懸念しています。

問2 職員定数の算定根拠は。

答2 (総務部長) 業務量の客観的な把握が必要と考えています。

問3 手数料・使用料はコスト試算を前提に決めるべきか。

### 田原 茂

(公明党)

#### 駅前有料駐輪場のあり方について問う

問 盗難に遭った自転車でも、放置され市が撤去した場合に2千円の撤去料が徴収される規則は改めるべきではないか。

答 (建設部長) 撤去料の免除規定の運用の仕方を検討します。

#### JR宿舎の空き室状況について市の対応を問う

問 住宅施策の一環として、宿舎

### 佐藤 洋二

(無党派)

#### 新成人議会の開催を

問 若者たちの政治への参加を促す、新成人による議会の開催を企画することは出来ないか。

答 (市長、生涯学習部長) 市政のありように対し、若い方々の関心が高まるこの企画は、大変意義深いことだと思っておりますので実現に向け検討します。

#### 教育費の保護者負担の軽減は

どう検討されている

### 中谷 好幸

(日本共産党市議団)

#### 市民の声を聞かず勝手にすすめてよいか

問 市民の声を聞かず勝手にすすめてよいか。学校の統廃合と自由選択制!

問 安易な学校選択の導入は学校の序列化や学校間格差等の問題を生みかねない。学校選択を検討するならば、教育環境の充実を図り、取り組みの成果を踏まえた上でなされるべきで、短期間に準備のできることはないと考えるが、どうか。

答 (学校教育部長) 特色を發揮

### 執印真智子

(清流・ネット)

#### 福祉オンブズの検討状況と幅広い市民参加について問う

問1 今後の展開について問う。

答1 (福祉保健部長) 専門家も含めた、市民参画で構成する検討委員会を進めていきます。

問2 在日外国人に対する介護保険サービスの内容について問う。

答2 (福祉保健部長) 日本人と同様です。情報提供を工夫します。

#### 保護者負担の軽減をどのように検討しているか問う

答 (教育長、学校教育部長) 引き続き改善に向け取り組んでいきます。

#### 湯沢福祉センターの施設改善について問う

問 施設の質的向上を図ることはできないか問う。

答 (市長、福祉保健部長) 浴室の改修・増設、老朽化した器具・備品の買い換え、蔵書数が少ない図書室の問題、各部屋の整備等できるものから一つ一つ実現に向け努力します。

#### モノレール開通で足を奪われたい人もいる

交通対策に本腰をいれよ!

#### モノレールにシルバーパスが適用できるよう、都、関係市町村及びモノレール会社との協議を要望するが、どうか。

答 (福祉保健部長) シルバーパスの適用範囲の拡大には莫大な財政負担が伴います。また、沿線自治体と同様の動きがないこと等により協議は難しい状況です。

#### のダイオキシン対策を問う

問 市民参加により調査を進め、ゴミ収集も含め環境問題に取り組むよつと問う。

答 (市長、環境共生部長) 環境基本計画に沿って対策を進めます。

#### 東京都「心の東京革命」を安易に受け入れるのは問題だ

問 「子どもの権利条約」と照らし合わせ、子どもを指導保護の対象とした「心の東京革命」の評価について問う。

## 常任委員会等委員を選任

### 企画総務委員会

- |                           |                           |
|---------------------------|---------------------------|
| 副委員長<br>中野 昭人<br>日本共産党市議団 | 委員長<br>宮沢 清子<br>公明党       |
| 副委員長<br>小川 友一<br>自民クラブ    | 委員長<br>執印真智子<br>清流・ネット    |
| 副委員長<br>内田 勲<br>市民クラブ     | 副委員長<br>板垣 正男<br>日本共産党市議団 |
| 副委員長<br>土方 尚功<br>自民クラブ    | 副委員長<br>黒川 重憲<br>公明党      |

### 生活文教委員会

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 副委員長<br>菅原 直志<br>清流・ネット | 委員長<br>奥住日出男<br>自民クラブ    |
| 副委員長<br>秋山 薫<br>市民クラブ   | 委員長<br>清水登志子<br>日本共産党市議団 |
| 副委員長<br>佐瀬昭二郎<br>あおぞら   | 副委員長<br>佐藤 洋二<br>無党派     |
| 副委員長<br>馬場 繁夫<br>公明党    | 副委員長<br>馬場 繁夫<br>公明党     |

### 福祉保健委員会

- |                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| 副委員長<br>名取美佐子<br>あおぞら  | 委員長<br>奥野 倫子<br>日本共産党市議団 |
| 副委員長<br>江口 和雄<br>市民クラブ | 委員長<br>中谷 好幸<br>日本共産党市議団 |
| 副委員長<br>夏井 明男<br>公明党   | 副委員長<br>一ノ瀬 隆<br>無党派     |
| 副委員長<br>福島盛之助<br>自民クラブ | 副委員長<br>小山 良悟<br>自民クラブ   |

### まちづくり建設委員会

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 副委員長<br>手嶋精一郎<br>自民クラブ    | 委員長<br>森田美津雄<br>あおぞら   |
| 副委員長<br>沢田 研二<br>市民クラブ    | 委員長<br>出沼恵美子<br>清流・ネット |
| 副委員長<br>竹ノ上武俊<br>日本共産党市議団 | 委員長<br>田原 茂<br>公明党     |
| 副委員長<br>福島盛之助<br>自民クラブ    | 副委員長<br>福島盛之助<br>自民クラブ |







# 請願・陳情の審査状況

今定例会では、請願・陳情28件が審査されました。審査の状況は次のとおりです。

## 採 択

◎「西平山土地区画整理事業の推進を図ること」の請願

【要旨】西平山土地区画整理事業は事業化から、すでに7年が経過しています。同事業の一日も早い展開を図るとともに、これまで市が地域住民に公約してきた「土地区画整理事業を進める方針」に沿って事業の進行が図られるよう要望する請願です。

【結論】全員一致の採択。

◎四小小学クラブの施設改善並びに職員増に関する請願

【要旨】少子高齢社会を迎え、21世紀を担う子どもたちのために、現状、手狭となっている四小小学クラブについて、79名の子どもが放課後安心して過ごせるよう施設を広げる努力をしていただき、安全管理上から正規職員または嘱託職員の増員をお願いします。

【結論】全員一致の採択。

◎多摩平14-91への適切な指導を求める請願

【要旨】多摩平14-91他に、地上17階の高層マンション建設が計画されています。本請願は、近隣住民が計画に関し、事業者との話し合いの時間が十分もてられないよう市に協力を求めることと、計画内容に対し適切な指導を要望するものである。

【結論】全員一致の採択。

## 不採 択

◎「日野市におけるゴミ収集の変更については平成12年10月1日以前に、市民参加を徹底し、充分納得の上で行うこと」に関する請願

◎日野市社会教育センターの継続と発展を願う請願

◎日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)

◎日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)

◎日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)

◎日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)

◎日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)

◎自治体と住民に犠牲を強いる「東京都財政再建推進プラン」に反対する意見書の提出を求める陳情

◎青年の政治参加をひろげる18歳選挙権の早期実現をもとめる意見書の採択に関する請願

◎多摩平下水道処理場跡地の有効利用に関する請願

◎日野消防署豊田出張所に救急車の配備を日野市として東京都に求める請願

◎快適な住環境を守るため、ワンルームマンション建設の見直しを求める請願

◎西平山土地区画整理事業に関連して東平山三丁目地区を通る市道「平山10号線」全区間の歩道設置に対する請願

◎日野市社会教育センターの継続と発展に関する請願(平成14年度)統廃合について白紙撤回を求める請願

## 継 続

◎雇用と地域経済を守ることに関する陳情

◎「解雇規制法」制定に関する陳情

◎南部地域に市立病院と連携する診療センター(診療所)の開設を求める請願

◎程久保地域に乗り合いタクシーを走らせることを求める請願

◎外国人行政に関する陳情

◎よりよい保育園給食・学校給食のために自園自校・直営方式の継続を求める請願

◎東京電力株式会社高幡不動変電所建設反対に関する陳情



▶ 暁愛児園で、元気に遊ぶ子どもたち

# 今定例会で議決した議案

## 市長提出議案

- 第1号 平成11年度日野市下水道事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分報告承認(承認)
- 第2号 日野市バリアフリー事業推進基金条例の制定(原案可決)
- 第3号 日野市特別会計条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第4号 日野市表彰条例等の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第5号 日野市長等の給与に関する条例の特例に関する条例の制定(原案可決)
- 第6号 日野市教育委員会教育長の給与等に関する条例の特例に関する条例の制定(原案可決)
- 第7号 日野市消防委員会条例を廃止する条例の制定(原案可決)
- 第8号 日野市消防団条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第9号 日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第10号 日野市認可地縁団体印鑑条例の制定(原案可決)
- 第11号 日野市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第12号 日野市土地区画整理事業基金条例の制定(原案可決)
- 第13号 日野市立栄町グループリビング条例の制定(原案可決)
- 第14号 日野市介護保険条例の制定(原案可決)
- 第15号 日野市介護保険円滑導入基金条例の制定(原案可決)
- 第16号 日野市介護給付準備基金条例の制定(原案可決)
- 第17号 日野市立福祉支援センター条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第18号 日野市立特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第19号 日野市高齢者住宅サービスセンター条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第20号 介護老人保健施設を建設する医療法人に対する助成に関する条例の制定(原案可決)
- 第21号 日野市入学資金助成条例を廃止する条例の制定(原案可決)
- 第22号 日野市手数料条例の制定(原案可決)
- 第23号 日野市営住宅条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第24号 日野市防災会議条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)

- 第25号 日野市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第26号 日野市都市計画審議会条例の制定(原案可決)
- 第27号 日野市下水道条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第28号 日野市準用河川管理条例の制定(原案可決)
- 第29号 日野市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第30号 日野市立図書館設置条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第31号 日野市公民館設置条例の一部を改正する条例の制定(原案可決)
- 第32号 平成11年度日野市一般会計補正予算(第4号)(原案可決)
- 第33号 平成11年度日野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)(原案可決)
- 第34号 平成11年度日野市土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)(原案可決)
- 第35号 平成11年度日野市下水道事業特別会計補正予算(第4号)(原案可決)
- 第36号 平成11年度日野市受託水道事業特別会計補正予算(第2号)(原案可決)
- 第37号 平成11年度日野市老人保健特別会計補正予算(第2号)(原案可決)
- 第38号 平成11年度日野市老人入院共済事業特別会計補正予算(第1号)(原案可決)
- 第39号 平成11年度日野市立総合病院事業会計補正予算(第1号)(原案可決)
- 第40号 平成12年度日野市一般会計予算(原案可決)
- 第41号 平成12年度日野市国民健康保険特別会計予算(原案可決)
- 第42号 平成12年度日野市土地区画整理事業特別会計予算(原案可決)
- 第43号 平成12年度日野市下水道事業特別会計予算(原案可決)
- 第44号 平成12年度日野市受託水道事業特別会計予算(原案可決)
- 第45号 平成12年度日野市老人保健特別会計予算(原案可決)
- 第46号 平成12年度日野市介護保険特別会計予算(原案可決)
- 第47号 平成12年度日野市立総合病院事業会計予算(原案可決)
- 第48号 日野都市計画事業東町土地区画整理事業に関する業務委託契約の締結(原案可決)
- 第49号 浅川左岸第五処理分区(11-3)工事請負契約の締結(原案可決)

- ## 議員提出議案
- 第1号 東京都「心の東京革命」の抜本的見直しを求める意見書(原案可決)
  - 第2号 保利国家公安委員長の罷免を求める意見書(否決)
  - 第3号 日野市議会会議規則の一部を改正する規則の制定(原案可決)

今定例会で可決された意見書の要旨は次のとおりです。

東京都「心の東京革命」の抜本的見直しを求める意見書

都は平成11年に「心の東京革命」素案を発表しました。この素案は、あまりにも都民の生活実感にそぐわない状況分析と解決方法となっており、

よって、日野市議会は以下の点について意見を述べるとともに、「基本方針及び行動案」の抜本的な見直しを求めます。

- ① 都民活動の実態把握ができるまで、安易に基本方針を出さないこと
- ② 地域を核に子育て支援を目的とした、基礎自治体への財政支援
- ③ 一つの価値観を都民に押しつけないこと
- ④ 都教育委員会は「子どもの権利条約」に基づき、豊かな学校運営が進むよう教職員の力量アップに努めること
- ⑤ 都の計画にある「子どもの権利基本条例」を速やかに制定すること

【意見書提出先】 東京都知事、東京都教育長

## 編集・後記

わたたくし達の目を養わせてくれた桜のころも過ぎ、野山はみずみずしい若葉に覆われるようになりました。

議員任期も後半に入り、今定例会では新たな人事構成が行われました。議会編集委員は議会運営委員が兼ねることになっています。定例会中は円滑な議会運営を、また、市議会だよりの編集に当たっては、読みやすい紙面づくりを心掛けていきたいと思っております。ご意見、ご要望をお寄せください。

- 【議会編集委員】
- 委員長 沢田研二
  - 副委員長 手嶋精一郎
  - 委員 中野昭人 出沼恵美子
  - 秋山薫 佐瀬昭二郎
  - 宮沢清子 土方尚功

- 議長 小川友一
- 副議長 板垣正男